2009年3月期 決算説明会用資料

連結決算 実績対比表	•••••	頁 1~2
販管費、営業外・特別損益 内訳表	•••••	頁 3
分析機器事業		頁 4~7
白動認識事業		百 0 ~ 10



ジーエルサイエンス

2007年(平成19年) 11月 子会社として設立

3,844 13.1

2,276 145.2

1,568 14.3

2005年(平成17年) 2月 子会社として設立

平成21年3月期 連結決算 通期 前期実績・当期実績・次期計画比較

少数株主利益 当期純利益

前期 実績/ 当期 実績 (当社所有株式割合: 65.2%) (当社所有株式割合: 100%) (当社所有株式割合: 95.0%) (当社所有株式割合:66.7%) ジーエルサイエンス(株) (分析機器事業) ジーエルサイエンス(株)(自動認識事業) ジーエルサイエンス㈱ 個別決算 (分析機器 + 自動認識) テクノクオーツ (連結) (半導体事業) ATAS GL International B V (分析機器事業) グロース (分析機器事業) GL Sciences Inc. (USA) (分析機器事業) 前期宝績 当期実績 前期実績 前期実績 当期実績 通 期 前期実績 当期実績 当期実績 当期実績 差 差 差 差 差 差 異 差 当期実績 (平成20年3月期 (平成21年3月期 増減額 及び 増減率 平成20年3月期 平成21年3月期 増減額 及び 増減率 (平成20年3月期) 平成21年3月期 増減額 及び 増減率 (平成20年3月期) 平成21年3月期 増減額 及び 増減率 平成20年3月期 (平成21年3月其 減額 及び 増減 平成20年3月期 平成21年3月期 曽減額 及び 増減率 平成20年3月期 増減額 及び 増減率 千円 (千円 千円 千円 千円 千円 千円 (千円 12,690,905 10 11,959,982 1 814,185 679,519 10 13,502,539 10 12,626,048 100 4,927,147 3,595,666 100 205,747 10 172,571 136,607 10 160,623 24,016 10,977 10 29,370 100 18,393 167.6 8,552,629 436,725 8,986,801 8,405,965 3,992,879 107,918 84,111 15,696 5,553 11,582 売 上 総 利 益 4,138,276 32 3,921,215 377,460 46 298,866 44 4,515,737 33. 4,220,082 33 934,267 614,642 97,829 47 93,861 5 52,495 38. 60,816 8,321 5,424 49. 12,235 41 6,811 125.6 31.571 販売費及び一般管理費 3.343.170 3.374.741 283,704 292,156 8.452 3.626.875 3.666.897 40.022 879.766 879.059 93,417 78.918 40.218 55.031 14.813 2.251 6,649 4.398 営 業 利 益 795,105 546,474 93,755 6,709 888,861 553,184 54,501 4,411 14,942 10,531 238. 12,276 5,785 3,172 28 5,585 2,413 営業 外収益 178,330 155,341 178,395 155,343 4,866 29,564 16,869 1,504 223 470 22,989 営 業 外 費 用 291,841 65,952 29,243 321,084 65,952 80,443 28,464 6,786 5,186 108,907 114 64 577 11.259 12.321 9 5.854 2.768 25. 6.058 20 3,290 118.9 经常利益 635 864 6.711 746 171 642 575 3 622 2 491 8 768 352 (681.594 特 別 利 益 228,119 34,163 228,119 34,163 18,762 64,854 64,854 359,634 648,658 20,908 12,321 9. 税引前当期純利益 844,859 64,577 7 909,436 6. 655,369 2,491 8,768 352.0 5,854 2,768 25. 6,058 20. 3,290 118.9 6,711 1 11,259 6. (法 人 税 等) (206.000) (197.000)(9,000) (-) (-) (206,000) (197.000)9,000 (8,000) (579) (-) (-) (1,753)(3,679)(1,926)(1,200) (2,214)(1,014) (税 効 果) (88,429) (42,154) 46.27 (88,429) (42.154)(58,294) (69,130) 1,926 294,429 239,154 294,429 239,154 68,551 1,753 3,679 1,200 2,214 1,014 税引後当期純利益 550,430 4 64,577 7. 6,711 1 416,214 23,744 10,568 7. 8,394 1,568 14. 3,844 13. 2,276 145.2 409,503 615,007 4. 2,491 1 8,768 352.0 2,174 807,025 11,259

2007年(平成19年) 7月 島津(香港)有限公司と 共同で販売合弁会社を上海に設立 (持分法適用関連会社のため、当社連結決算に、 下記数値の 30.0%が影響します。)

550,430 4.3

	ト記数値の			
	島湾	津技迩 (分析機器	事業)	連結決算
前期実績 対	前期実績 通 期	当期実績 通 期	差 異	前期実績 <mark>当期実績</mark> 差 異 通 期 通 期
当期実績	(平成19年12月期)	(平成20年12月期)	増減額 及び 増減率	(平成20年3月期) (平成21年3月期) 増減額 及び 増減率
	千円 %	千円 %	千円 %	6 千円 % <u>千円 %</u> 千円 %
売 上 高	25,848 100.0	365,175 100.0	339,327 1312.8	3 18,537,390 100.0 16,323,794 100.0 2,213,596 11.9
売 上 原 価	16,819	247,307	230,488	12,945,289 11,324,572 1,620,717
売 上 総 利 益	9,029 34.9	117,867 32.3	108,838 1205.4	4 5,592,101 30.2 4,999,221 30.6 592,880 10.6
販売費及び一般管理費	35,571	121,964	86,393	4,629,141 4,677,650 48,509
営 業 利 益	26,541 102.7	4,097 1.1	22,444 -	962,960 5.2 321,571 2.0 641,389 66.6
営 業 外 収 益	-	96	96	123,221 112,106 11,115
営 業 外 費 用	-	148	148	387,577 176,042 211,535
経 常 利 益	26,541 102.7	4,149 1.1	22,392 -	698,603 3.8 257,634 1.6 440,969 63.1
特 別 利 益	-	-	-	245,591 59 245,532
特 別 損 失		-	-	66,331 382,479 316,148
税引前当期純利益	26,541 102.7	4,149 1.1	22,392 -	877,864 4.7 124,785 0.8 1,002,649 -
(法 人 税 等)	(-)	(-)	(-)	(216,953) (210,315) (6,638)
(税 効果)	(-)	(-)	(-)	(80,753) (84,436) (3,683)
税 合 計	-	-	-	297,706 294,751 2,955
税引後当期純利益	26,541 102.7	4,149 1.1	22,392 -	580,158 3.1 419,537 2.6 999,695 -
少数株主利益	-	-	-	8,071 267,233 275,304
当 期 純 利 益	26,541 102.7	4,149 1.1	22,392 -	572,087 3.1 152,304 0.9 724,391 -

64,577 7.

6,711 1.0

当期 実績/ 次期 計画 (当社所有株式割合: 65.2%) テクノクオーツ (連結) (半導体事業) ジーエルサイエンス(株)(分析機器事業) ジーエルサイエンス(株)(自動認識事業) ジーエルサイエンス(株) 個別決算 (分析機器 + 自動認識) 当期宝績 次期計画 期 差 異 差 異 差 異 差 異 対 次期計画 増減額 及び 増減率 平成21年3月期) (平成22年3月期) 増減額 及び 増減率 平成21年3月其 (平成22年3月期 減額 及び 増減 (平成22年3月期) (平成22年3月期) 増減額 及び 増減率 平成21年3月其 平成21年3月期 千円 壬円 % 千円 11,959,982 810,018 679,519 100 70,481 10. 2,626,048 10 893,952 3,595,666 100 2,400,000 100. 原 価 8,038,766 8,650,000 611,234 420,700 40,047 9,070,700 664,735 1,964,008 売 上 総 利 益 3,921,215 4,120,000 32.3 198,785 298,866 44 329,300 43 30,434 10.2 4,220,082 33. 4,449,300 229,218 614,642 17 435,992 18.2 販売費及び一般管理費 3.374.741 3.648.880 274.139 292,156 311.600 19.444 3.666.897 3.960.480 293,583 879,059 662.071 営業 利益 546,474 471,120 6,709 17,700 10,991 163.8 553,184 488,820 38,338 39,000 116,341 155,343 39,000 16,869 7,714 業 外 費 用 65.952 65.952 108,907 42,522 44.000 44.000 66.38 6711 17 700 経 常 利 益 642 575 95.568 635 864 466 120 10 989 163 7 483 820 別 利 益 34,163 34,163 21,369 50,000 466,120 17,700 2. 税引前当期純利益 648,658 182,538 6,711 10,989 163.7 655,369 483,820 406,679 法 人 税 等) (197,000) (200,000) (3.000) (-) (-) (-) (197.000) (200,000) (3.000) (7.421)(8,000) (579) 効 果 (42,154) (42,154) (58,294) 65,715 8,000 200,000 239,154 200,000 税引後当期純利益 409.503 266.120 2. 17.700 2 416,214 3. 283.820 464.394 143,383 6,711 10.989 163.7 少数株主利益 当 期 純 利 益 409,503 3.4 266,120 2.1 6,711 1.0 17,700 2.4 10,989 163.7 416,214 3.3 283,820 464,394

8,768 352.0

2001年(平成13年) 8月 子会社として買収

2,491 1.2

2001年(平成13年) 8月 子会社として買収 (当社所有株式割合: 100%)

2005年(平成17年) 2月 子会社として設立 (当社所有株式割合: 95.0%)

2007年(平成19年) 11月 子会社として設立

(当社所有株式割合: 66.7%)

2007年(平成19年) 7月 島津(香港)有限公司と 共同で販売合弁会社を上海に設立 (持分法適用関連会社のため、当社連結決算に、

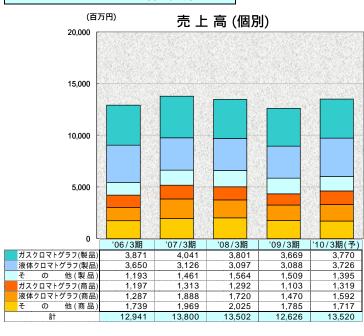
下記数値の 30.0%が影響します。)

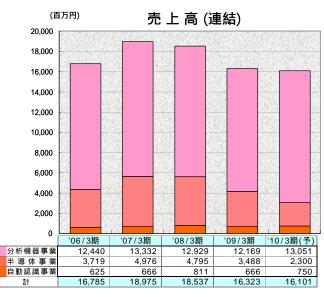
	ATAS (GL International B.V. (:	分析機器事業)	GL Science	s, Inc. (USA) (分析	「機器事業)	グロ	ース (分析機器	事業)		昌津技迩 (分析機器	署事業)		連結決算	
当期実績 対	当期実績通り	通期	差異	当期実績 通 期	次期計画通期	差異	当期実績通期	次期計画通期	差異	当期実績 通 期	次期計画通期	差異	当期実績 通 期	次期計画通期	差異
次期計画	(平成21年3		増減額 及び 増減率	(平成21年3月期)	(増減額 及び 増減率	(平成21年3月期)		増減額 及び 増減率		期) (平成21年12月期		(平成21年3月期	, ,	
	千円	% 千円 %	千円 %	千円 %	千円 %	千円 %	千円 %	千円 %	5 千円 %	千円	% 千円 9	6 千円 %	千円 9	6 千円 %	千円 %
売 上 高	172,571	100.0 185,750 100.0	13,179 7.6	160,623 100.0	287,820 100.0	127,197 79.2	29,370 100.0	31,038 100.0	1,668 5.7	365,175 1	0 <mark>0.0</mark> 530,600 100.	0 165,425 45.3	16,323,794 100.	16,101,270 100.0	222,524 1.4
売 上 原 価	78,709	89,160	10,451	99,807	176,637	76,830	17,135	20,464	3,329	247,307	392,644	145,337	11,324,572	10,997,631	326,941
売 上 総 利 益	93,861	54.4 96,590 52.0	2,729 2.9	60,816 37.9	111,183 38.6	50,367 82.8	12,235 41.7	10,574 34.1	1,661 13.6	117,867	32.3 137,956 26.	0 20,089 17.0	4,999,221 30.	5,103,639 31.7	104,418 2.1
販売費及び一般管理費	78,918	78,576	342	55,031	80,702	25,671	6,649	6,649	-	121,964	115,668	6,296	4,677,650	4,783,478	105,828
営 業 利 益	14,942	8.7 18,014 9.7	3,072 20.6	5,785 3.6	30,481 10.6	24,696 426.9	5,585 19.0	3,925 12.7	1,660 29.7	4,097	1.1 22,288 4.	2 26,385 -	321,571 2.	320,161 2.0	1,410 0.4
営 業 外 収 益	1,504	1,596	92	223	180	43	472	-	472	96	-	96	112,106	43,490	68,616
営 業 外 費 用	5,186	3,900	1,286	153	-	153	-	-	-	148	-	148	176,042	78,736	97,306
経 常 利 益	11,259	6.5 15,710 8.5	4,451 39.5	5,854 3.6	30,661 10.7	24,807 423.8	6,058 20.6	3,925 12.7	2,133 35.2	4,149	1.1 22,288 4.	2 26,437 -	257,634 1.	6 284,915 1.8	27,281 10.6
特 別 利 益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	59	-	59
特 別 損 失	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	382,479	50,000	332,479
税引前当期純利益	11,259	6.5 15,710 8.5	4,451 39.5	5,854 3.6	30,661 10.7	24,807 423.8	6,058 20.6	3,925 12.7	2,133 35.2	4,149	1.1 22,288 4.	2 26,437 -	124,785 0.	234,915 1.5	359,700 -
(法人税等)	(-)	(-)	(-)	(3,679)	(9,197)	(5,518)	(2,214)	(1,570)	(644)	(-)	(-)	(-)	(210,315)	(218,767)	(8,452)
(税 効果)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(84,436)	(-)	(84,436)
税 合 計	-	-	-	3,679	9,197	5,518	2,214	1,570	644	-	-	-	294,751	218,767	75,984
税引後当期純利益	11,259	6.5 15,710 8.5	4,451 39.5	2,174 1.4	21,464 7.5	19,290 887.3	3,844 13.1	2,355 7.6	1,489 38.7	4,149	1.1 22,288 4.	2 26,437 -	419,537 2.	6 16,148 0.1	435,685 -
少数株主利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	267,233	109,180	158,053
当 期 純 利 益	11,259	6.5 15,710 8.5	4,451 39.5	2,174 1.4	21,464 7.5	19,290 887.3	3,844 13.1	2,355 7.6	1,489 38.7	4,149	1.1 22,288 4.	2 26,437 -	152,304 0.	9 125,328 0.8	277,632 -

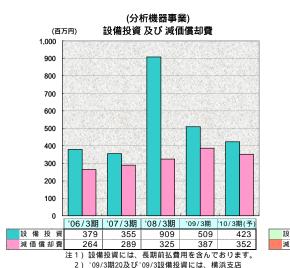
615,007 4.6

416,214 3.3

DATA FILE 2009/3 ジーエルサイエンス株式会社







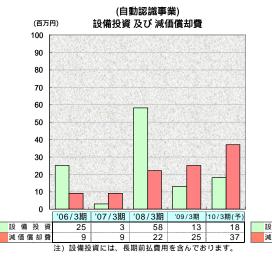
自社ビル用土地建物241百万円を含んでおります。

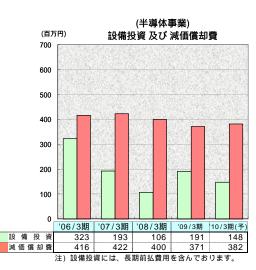
配当金総額

- 配当性向(個別)

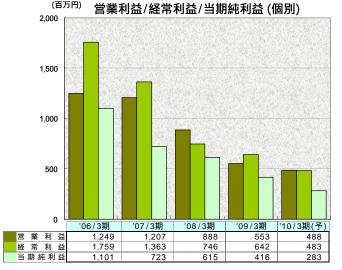
1株当たり配当金

当支店の新社屋は、'09/5に完成いたしました。

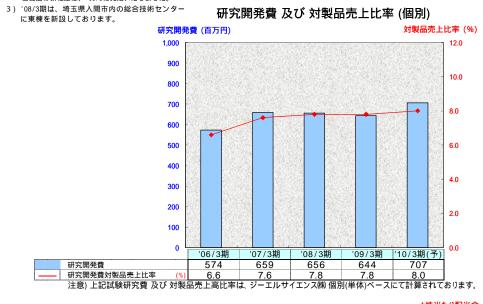


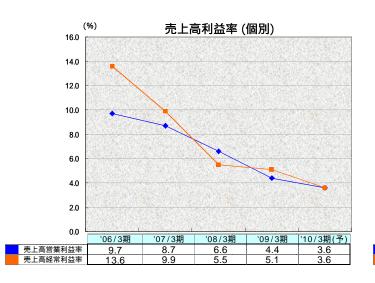










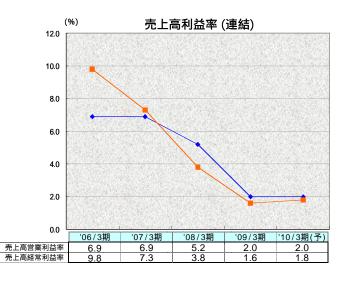


会社別 実績 及び 計画数値

661

550

266



723

615

283

120 100 100 100 100 100 15	配当金総額	額 (百万円)	配	当の状	況		たり配当3 当性向 140
250 80 80 80 80 80 80 80	350						120
200 150 100 50 0 06/3期 07/3期 08/3期 19/3期 110/3期(予) (百万円) 251 249 232 - (円/年間) 45.0 45.0 45.0 - (第) 25.4 42.5 43.9 -	300						100
200 150 0 0 06/3期 07/3期 08/3期 109/3期 110/3期(予) (百万円) 251 251 249 232 - (円/年間) 45.0 45.0 45.0 - (第) 25.4 42.5 43.9	250					7	80
150 10	200						
100 100 20 20 20 20 20 2	150						60
50 0 106/3期 107/3期 108/3期 109/3期 110/3期(予) (百万円) 251 251 249 232 - 〒 (円/年間) 45.0 45.0 45.0 - (※) 25.4 42.5 43.9	100 -						40
106/3期	50						20
106/3期	ا ٥						. 0 /
(円/年間) 45.0 45.0 45.0 - (%) 25.4 42.5 43.9						'10/3期(予)	/
(%) 25.4 42.5 43.9						-	
	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~				45.0	-	
(%) 23.3 34.8 40.8 58.8 -					-	-	
	(%)	23.3	34.8	40.8	58.8	-	

592

572

152

(単位:百万円)

'10/3期(予)の配当につきましては、現時点において、合理
的な業績予想の算定が困難であることから、未定とさせてい
ただきます。
今後は業績の回復に努め当社グループの事業環境の推

今後は業績の回復に努め当社グループの事業環境の推 移を見極めた上で配当予想額の開示が可能となり次第、速 やかに開示いたします。

# (参考データ) 島津技迩(上海)商貿有限公司

島津技迩(上海)商貿有限公司は、当社が30%出資している 上海(中国)の関連会社で、中国市場における分析機器および理化学機器用消耗部品・前処理装置・関連消耗部品の販売及び関連するアフターサービスを目的としております。

				(単	位:百万円)									
		島津打	島津技迩(上海)商貿有限公司											
		'06/12期	'07/12期	'08/12期	109/12期計画									
	売 上 高		25	365	530									
	売上総利益		9	117	137									
	営 業 利 益		26	4	22									
-														

'07/12期は、2007年6月に設立し、10月より営業活動を開始 したため、3ヶ月の実績数値となります。 当連結決算は、持分法適用関連会社のため、上記数値の 出資比率30%を乗して計算しております。

				ジーエルサイエンス株式会社 分析機器重要 白動詞論重要						- ジーエルサイエンス株式会社 (個別) テクノクオーツ株式会社 (連結)				ATAS GL Ineternational B.V.			GL Sciences, Inc. (USA)				株式会社グロース				連 結 決 算										
	_	'07/3期	'08/3期	'09/3期	'10/3期 計画	'07/3期	'08/3期	'09/3期	'10/3期 計画	'07/3期	'08/3期	'09/3期	'10/3期 計画	'07/3期	'08/3期	'09/3期	'10/3期 計 画	'07/3期	'08/3期	'09/3期	'10/3期 計 画	'07/3期	'08/3期	'09/3期	'10/3期 計画	'07/3期	'08/3期	'09/3期	'10/3期 計画	'07/3期	'08/3期	'09/3期	'10/3期 計 画		
売		L	高	13,134	12,690	11,959	12,770	670	814	679	750	13,800	13,502	12,626	13,520	5,100	4,927	3,595	2,400	160	205	172	185	134	136	160	287		10	29	31	18,975	18,537	16,323	16,101
売	上 糹	総 利	益	4,388	4,138	3,921	4,120	311	377	298	329	4,700	4,515	4,220	4,449	1,020	934	614	435	87	97	93	96	49	52	60	111	/	5	12	10	5,866	5,592	4,999	5,103
営	業	利	益	1,142	795	546	471	64	93	6	17	1,207	888	553	488	112	54	264	226	38	4	14	18	3	12	5	30	/	3	5	3	1,301	962	321	320
経	常	利	益	1,301	681	635	466	61	64	6	17	1,363	746	642	483	102	3	356	260	41	2	11	15	3	12	5	30	/	2	6	3	1,383	698	257	284
税	引前当	期純	利 益	1.275	844	648	466	61	64	6	17	1.337	909	655	483	45	20	717	310	41	2	11	15	3	12	5	30	/	2	6	3	1.350	877	124	234

#### ジーエルサイエンス 7705

# 第42期 期末 個別決算(分析機器+自動認識) 販管費・営業外損益・特別損益 内訳

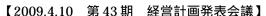
単位:千円(単位未満 切捨て)

					(前期)	(当期)				_		
					第41期	第42期					前期	当期
(販管費)	前期	当期	増減額		<u>平成20年3月期</u>	<u>平成21年3月期</u>	増減額	増減率		(営業外収益)		
運賃荷造費	110, 344	108, 523	△1,820	売 上	13, 502, 539	12, 626, 048	△876, 490	△ 6.49		受取利息	10, 930	11, 591
広告宣伝費	143, 879	102, 971	△40,907	売 上 原 価	8, 986, 801	8, 405, 965	△580, 836	△ 6.46		受取配当金	80, 684	62, 286
貸倒引当金繰入	12, 892	10, 265	△2,627	売 上 総 利 益	4, 515, 737	4, 220, 082	△295, 654	△ 6.55		為替予約評価益	0	31, 294
役員報酬	118, 364	120, 899	2,534	<b>←</b> 販 管 費	3, 626, 875	3, 666, 897	40, 022	1.10	1	為替差益	24, 381	0
給料手当	1, 085, 902	1, 109, 959	24,057							雑収入	62, 398	50, 170
賞与	211, 877	234, 813	22,936	営 業 利 益	888, 861	553, 184	△335, 677	△ 37.76		計	178,395	155,343
賞与引当金繰入	151, 110	156, 592	5,481							(営業外費用)		
退職給付引当金繰入	△13, 831	54, 088	67,920	営 業 外 収 益	178, 395	155, 343	△23, 051	/	,	支払利息	27, 627	34, 727
役員退職給与引当金繰入	11,065	11, 980	914	営 業 外 費 用	321, 084	65, 952	△255, 132			手形売却損(割引料)	1, 795	362
法定福利費	204, 171	188, 683	△15,487							たな卸資産廃棄損	80, 927	0
福利厚生費	29, 869	46, 714	16,844	経 常 利 益	746, 171	642, 575	△103, 596	Δ 13.88		たな卸資産評価損	67, 930	0
賃借料	154, 095	153, 059	△1,035							為替予約評価損	138, 408	0
減価償却費	120, 484	128, 841	8,357	特 別 利 益	228, 119	34, 163	△193, 955		\	為替差損	0	27, 496
公租公課	52, 857	55, 095	2,238	特別損失	64, 854	21, 369	△43, 485			雑損失	4, 394	3, 366
交際費	18, 716	8, 373	△10,342					`		計	321,084	65,952
旅費交通費	154, 163	143, 958	△10,204	税引前当期利益	909, 436	655, 369	△254, 067	△ 27.94		_(特別利益)		
通信費	39, 270	37, 403	△1,866							貸倒引当金戻入益	767	34, 104
試験研究費	656, 154	644, 090	△12,063	法 人 税 等	206, 000	197, 000	△9, 000			固定資産売却益	342	59
支払手数料	120, 492	111,824	△8,667	法人税等調整額	88, 429	42, 154	△46, 274			企業立地助成金受入益	174, 960	0
車両費	22, 953	23, 274	320							投資有価証券売却益	52, 049	0
消耗品費	70, 282	72, 465	2,182	当 期 利 益	615, 007	416, 214	△198, 792	△ 32.32		計	228,119	34,163
その他	151, 760	143, 017	△8,742						\	(特別損失)		
計	3,626,875	3,666,897	40,022						*	固定資産除売却損	24, 854	3, 704
				売上総利益率	33. 44%	33. 42%		-0.02%		投資有価証券売却損	0	115
				営業利益率	6. 58%	4. 38%		-2.20%		投資有価証券評価損	0	17, 550
				経常利益率	5. 53%	5. 09%		-0.44%		貸倒引当金繰入	0	0
										役員退職慰労金	40,000	0
										計	64,854	21,369

# 分析機器事業

# 平成 21 年 3 月期 (第 42 期通期)決算説明会 資料







【2009.6.1より 横浜支店開設】

#### 1. 第 42 期通期業績概要

分析機器事業におきましては、上期での前期比売上げは他社消耗品、他社装置は減収となりましたが、自社消耗品、自社装置が増収となり、全体では微増となりました。

しかし、下期になると米国発の金融危機により、国内では景気の先行き不安などによる買い控えや、海外では急激な円高の影響をうけ、自社製品、他社商品ともに前期比減収と低調に推移しました。

その結果、第 42 期(平成 21 年 3 月)通期の分析機器事業の売上実績は、11,959,982 千円、期初計画 13,150,000 千円に対し、計画達成率 91.0%、修正計画 12,395,000 千円に対し、達成率 96.5%、前期比伸び率 5.8%( 730,923 千円)となりました。

売上総利益については修正計画 3,986,000 千円に対して 3,921,215 千円で達成率 98.4%、前期比伸び率 5.2%、また営業利益については修正計画 532,800 千円に対して 546,474 千円で、達成率 102.6%、前期比伸び率では 31.3%という結果でした。

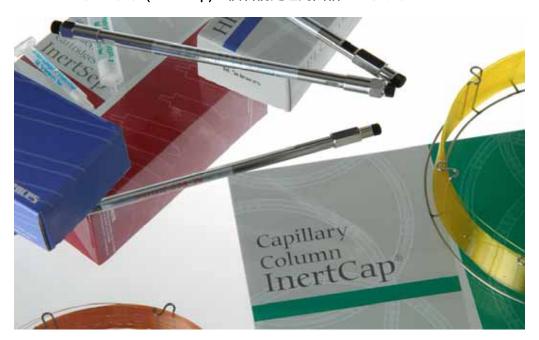
## 2. 主力製品群の動向について

当社が世界に誇る"イナートファミリー"

・イ ナ ー ト シ ル(Inertsil): L C (液体クロマトグラフ)充填カラム

・イナートキャップ(Inertcap): GC(ガスクロマトグラフ)キャピラリーカラム

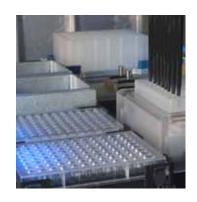
・イナートセップ(Inertsep): 試料前処理用固相カートリッジ



主力消耗品のイナートファミリー3分類(イナートシル、イナートキャップ、イナートセップ)は、資料濃縮用固相カートリッジ「イナートセップ」が前期比+6.1%(57,171千円増)の伸びを維持しております。

しかし、下半期に発生した金融危機による買い控えや予算の締め付けの影響が顕著にあらわれ、キャンペーン等の拡販策を講じましたが、液体クロマトグラフ用充填カラム「イナートシル」、ガスクロマトグラフ用キャピラリーカラム「イナートキャップ」はそれぞれ前期比マイナスとなりました。

また、装置では製薬会社向け高性能自動前処理装置 MICROLAB などバイオ自社装置は増収となりましたが、前期伸びた LC/MS/MS など高額な他社バイオ装置は半減しました





【全自動分注システム MICROLAB(マイクロラボ)】

## 3. 海外市場の動向

海外市場におきましては、主力であるイナートシルが上半期では中国インドを中心として前期比で 7.5% (約 18,000 千円) 伸びました。

しかし、下半期になると米国発の金融危機と急激な円高の影響を受け、通期の総輸出額は前期比伸び率 12.6%(約 106,000千円)となりました

## 4. 第 43 期計画概要

## (1) 市場動向について

前期42期に引き続き、自社製品の拡販に努めます。

自社主力消耗品「イナートファミリー」については、製品ごとにマーケティング・プロモーションチームを発足させます。マーケット情報の収集から製品開発、製造、アプリケーション、プロモーションを一体として担当し、国内のみならず海外市場も見据えた活動を行います。

またこれまでの「環境プロジェクト」を一新し、目的をより明確にした「水質・食品プロジェクト」を発足させました。本プロジェクトは、上水の公定法改正への対応やポジティブリスト対応を継続し、製品開発と拡販に取り組んでいきます。

営業活動では京浜地域の業務拡大に向け、横浜市緑区に土地付き建物を購入しました。当期より横浜支店として格上げし、ショールームなどを開設し、営業体制の強化を図ります。

海外市場では、中国の合弁会社「島津技迩(上海)商貿有限公司」、子会社 ATAS GL、GL Sciences USA への支援、協力により、自社製品のシェアアップを図ります。

#### (2) 主力製品群の動向について

#### イナートシル(液体クロマトグラフ用充填カラム)

新規技術を採用し製品化しましたイナートシル ODS-4 の本格的販売を開始します。

本カラムは、充填剤の表面を今まで以上に不活性(イナート)処理を施すことにより、吸着性の強い強酸性・強アルカリ性化合物の分離や水 100%の条件下においても、分析の安定性に優れております。当期は、イナートシル ODS-4を国内市場に 4,000 本、海外市場へ 6,000 本の販売を見込みます。



# イナートキャップ(ガスクロマトグラフ用キャピラリーカラム)

GC/MS(質量分析装置)の感度向上により、分析時間短縮を目的とした、内径の細いキャピラリーカラムの需要があります。そこで、従来品(内径 0.25mm)より細い 0.18mm 内径のカラム「InertCap Fast GC Column」の販売を開始します。多くの販売数量は望めませんが、ラインアップの充実によりユーザー要求を満足させ、より一層の販売強化を図ります。



# イナートセップ(試料濃縮用固相カートリッジ)

水環境分析分野では実績を積んでおりますが、ここ数年は食品分野へと販路を広げております。前期は乳製品中のメラミン分析などにより、若干の特需がみられました。当期は、食品サンプル前処理用珪藻土カートリッジ「K-SOLUTE」の販売を開始します。また、モノリス技術を用いた、バイオモノリス関連製品「MonoSpin」(DNA 精製)を上市し、資料濃縮用固相カートリッジの販売を強化します。



# 液体クロマトグラフ装置

高速・高分離・高感度を実現させた一体型 HPLC システム「ハイスピードセパレーションシステム LC-800」を投入します。

通常より粒径の細かい 3  $\mu$  m の HPLC カラムを使用することにより、分析時間が 1/8 に、また約 2.3 倍の感度向上(社内比)が得らます。

大阪支店、横浜支店にそれぞれ設備と販売促進担当者を配備し、20セットの販売を目指します。



【ハイスヒ゜ート゛セハ゜レーションシステム LC800】

## 自動固相抽出装置

水質分析用全自動固相抽出装置 ASPE799 を投入します。ASPE799 は、多くの納入実績のある ASPE699 に新機能を付加したリニューアル製品です。競争力のある装置であり、当期は 40 台の販売を見込んでおります。



【アクアトレース 799】

# 自動認識事業

#### 平成21年3月期(第42期) 決算説明会資料

#### 1.第42期売上計画・利益計画達成概況について

計画策定時点では取引先各社との情報交換を基に案件を慎重に精査し、具体的な数字の積上げで計画を立てました。さらに計画に載せない有望案件も豊富に有り自信をもって臨んだ 42 期計画でした。しかし、上期早々にシステム部門で確実視していた大型 2 案件の失注・先延べ、デバイス部門でもOEM案件の棚上げなどと、大幅な計画未達成という結果になってしまいました。

計画を下方修正してスタートした下期においても状況は好転せず、見込んだ案件の棚上げや失注が相次ぐ状況でありました。

この結果、<u>売上実績は 679,519 千円(計画達成率 56.6%; 前期比 83.5%</u>)、<u>売上総利益は 298,866</u> <u>千円(計画達成率 57.9%; 前期比 79.2%)</u>となり、営業利益は 6,709 千円(計画達成率 5.0%; 前期比 7.2%)と低迷しました。

42 期では新規市場への取組みとして情報通信系市場 (ポイント端末・デジタルサイネージ【電子広告】)の展開に期待しましたが複数社と開発の契約までは漕ぎ付けるものの量産品納入に至らず、計画通りの成果を上げることが出来ませんでした。しかし、当分野向け製品は 43 期では大きく伸びると考えています。

反面、アクセスコントロール市場(機械警備・タイム情報)向けは 40 期、41 期の郵政関係特需による要因のマイナス材料を除けば安定継続取引先各社の取引は増大しました。さらに、当社が開発している新技術を積極的に採用していこうとする姿勢が有り、今後も期待できる状況が続くと考えています。

41 期より続く新建築法の影響による不動産、建設関連の停滞や今期後半からの予想を超えた不況 で当事業本部の取引先各社でも不振による事業再編や新規開発の凍結など影響が出ています。

しかし、当社製品への期待や要望は以前にも増して盛んになってきていると実感しています。ま だ評価段階である案件は多く楽観視は出来ませんが、着実に取引先を増やしてきています。

42 期の低迷は一時的なものと捉えています。より積極的な開発活動と新規市場開拓に邁進することで43 期以降では42 期の低迷を挽回する実績が作れると実感しております。

2.RFID **関連の市場動向**《概要;文中は日本自動認識システム協会が作成した資料(会員アンケート 集計)を参考としています》

社団法人「日本自動認識システム協会」の 2008 年度(1月~12月)出荷量・出荷金額調査では RFID 関連全体の出荷金額合計は前年度比 2.7%減の 358 億円であったと報告されています。

2007 年度調査時で伸び率が低下し、2008 年度ではついにマイナス成長となってしまいました。 内訳は、<u>リーダライタが、出荷金額 2007 年対比 26.8%減の 111 億円</u>、RFID (非接触 IC カード、 タグ、チップ・インレット)では、出荷金額 6.8%増の 199 億円、応用機器では、出荷金額 2007 年 対比 7.1%減の 28 億円、付属品は 500.0%増の 20 億円でありました。

また、<u>当事業本部が主力として展開しているリーダライタは出荷金額で長波・中波帯が2007年対比55.7%減の15億円(当社1.1億) 短波帯が21.3%減の83億円(当社3.2億) UHF帯が25.0%増の7億円、マイクロ波帯が3.2%減の5億円</u>でした。

目立った動きとしては短波帯の出荷台数が自動販売機(タスポ)の特需が終わったことにより2007年度比で44.6%減の57万台と大幅に減少したことです。

過去数年に亘り展開されたテレカ(非接触 IC テレホンカード) 住基カード(住民基本台帳カード) タスポ(タバコ自動販売機規制カード)などの特需が終息し新たな特需要因の無い状況での短波帯リーダライタの需要は60万台(出荷金額100億)程度で推移すると考えられます。

当社での短波帯リーダライタの 2008 年度出荷台数は約 8 万台でした。あくまでも日本自動認識システム協会が行ったアンケート集計の上ですが、現時点の市場シェアは 14%になります。

さらに、アンケート集計では当社が販売した取引先での再販が含まれています。これを勘案する と当社の市場シェアは約25%と推定することが可能であると考えています。

2009 年度の市場予測は全体として 2008 年度と同等の出荷金額 355 億円としています。景気低迷の中でも効率化やコストダウンを目的に RFID 関連は、物流業界・金融業界などの各種ソリューションに有効利用され、着実に進展していくものと期待しております。

#### 3.第43期売上計画・利益計画ついて

【第43期の基本利益計画】

売上金額 : 750,000千円 前期比110.4%

【上期 350,000 千円下期 400,000 千円】

固定費 : 311,600千円

営業利益 : 17,700千円 前期比 263.8%

【セグメント別売上計画】

システム部門: 200,000千円 前期比 103.6%

デバイス部門:550,000千円 前期比 113.0%

内訳 機器組込み基板系 270,000 千円

完成系 230,000 千円 タグ関係 50,000 千円

43 期計画は計画を必ず達成しよう!という考えで作成しています。42 期で慎重に精査をして確信があった案件でも失注、棚上げが相次ぎ取引先からの情報をストレートに受容れ、計画するリスクの高さを痛感し反省もしております。

当初、営業部では市場の状況を考慮し 850,000 千円(10 億程度の積上げ情報が有るなかで)を売上計画として立案しました。(システム部門: 240,000 千円 デバイス部門: 610,000 千円)しかし、日を追う毎に不透明感が増す経済情勢に関連して、取引先各社からは事業縮小、開発行為の凍結などの情報が伝えられてきます。これらを考慮すると慎重にならざるを得ません。このため、少々消極的ではありますが売上計画を 750,000 千円としました。

ただし、当事業部ではあくまでも 1,000,000 千円超を目指し、最低でも 850,000 千円を達成する 体制で臨みます。

#### 売上増大見込みの根拠

#### ・システム部門

- * 入退室管理システムは大型案件を見込んでいません。しかし、小口案件(増設・移設案件が中心) の積上げ情報が多数あり、計画に大きなブレはないと考えています。(ACTY システムを加え提案 力が増しています。)
- *42 期後半で化審法強化の情報から一気に話題となった化学物質総合管理システムの期待値があります。大学案件を中心に3システムの導入が確実視されます。さらに引合案件は増える傾向に有ります。

#### ・デバイス部門

- *43 期では XRC100 が完成度を上げたかたちで投入できます。42 期で足踏み状態であった案件が全国的に動き出す見込みです。さらに、『XRC100 販売プロジェクト』の効果が成果として出てくると予想しています。
- *壁付けリーダシリーズが充実し拡販体制が整います。待望の2個用スイッチボックス仕様が7月上旬にリリースされます。2個用スイッチボックス仕様はマルチプロトコルリーダとして Type B にも対応しておりますので、大手電機メーカーなどに積極的に提案して行きます。さらに 42 期で棚上げ状態となったミューリーダ対応は2個用スイッチボックスの筐体で商談が進んでいます。壁付けリーダシリーズとしては1個用スイッチボックス仕様が受注残として4,000台(43期中に順次出荷)が有り、その他有望案件の商談が順調に進んでいます。
- *小型ハンディリーダ【EZハンディリーダライタ】がリリースされます。計画では某社仕様の納入に限定していますが、SI企業向けやソフトハウス、情報通信事業者、警備会社などとの間で具体的商談に移行しており期待が持てる展開となっています。
  - さらに、本製品にNFCチップを搭載して機器間通信に対応する企画も浮上しました。取引先(エンドユーザー含む)との協議があるため計画には入れておりませんが楽しみの一つです。
- * 42 期で種まきをしたNFC搭載 mifare、FeliCa マルチリーダライタ基板(NM06/NM07)の本格的な出荷が期待されます。引合情報を総合すると 38,000 台の販売予想となります。
- *NFC搭載 mifare、Type B、FeliCa マルチリーダライタ基板 (NM14/NM15) は 43 期より本格営業のスタートです。商談が進んでいる大学案件や機械警備関連会社、情報通信関連会社を足がかりに住民基本台帳カードへの取組みや社会保障カードへの取組み、免許証、パスポートなどの派生事業に絡められるように営業努力をしたいと考えています。
- *継続安定取引先からは、何れも42期より販売額の増大につながる情報を得ております。

#### 第 43 期開発案件

- ・ 2個用スイッチボックス仕様マルチリーダの開発
- ・ 小型ハンディリーダ【 E Z ハンディリーダライタ】の開発完了(ハードウェア)とソフトウェアの開発
- ・ 壁付型マルチリーダ高級機の開発
- ・ 入退室コントローラの廉価版開発
- ・ 壁付型高機能マルチリーダ【OS搭載】の開発 営業部では上記開発案件に従った市場調査、販促活動を展開します。

以上